

二島中学校だより

No.3

北九州市立二島中学校

校長 森 隆

向暑の候、保護者の皆様におかれましては、ますますご健勝のことと存じます。3年生は5月11日から2泊3日の修学旅行に、2年生は6月3日に福岡市班別自主研修に行ってきました。1年生は来週6月13日から2泊3日でふれあい合宿に行ってきました。修学旅行では、生徒たちはいろいろなことを体験し、大いに楽しみました。2年生の班別自主研修では、3年生になった時の修学旅行での京都市内班別自主研修へ向けての現地訓練でもありましたが、しっかり下調べをして非常に有意義な体験となりました。この体験を生かし、今年度の3年生の修学旅行のように素晴らしい修学旅行にしてもらいたいと思っています。

また、今月の22日～24日の3日間で期末考査が行われます。日々の授業の学習成果が試される時です。1年生は、中学校生活初めての定期考査、2・3年生は、自分の進路へ向けての新たな出発の考査となります。今から期末考査へ向けて、真剣に取り組めば、必ず結果はついてきます。自分の将来の為だけではなく、今を充実した時間にするために精一杯頑張りましょう。勉強は、やればやるほど分かってきます。分かってくれば来るほど面白くなります。その面白さが分かるまで頑張りましょう。

仲間と語り、助け合った修学旅行

修学旅行初日、京都駅に着いて、すぐに班別自主研修がありました。各班別で、三十三間堂、二条城、平安神宮、八坂神社等、思い思いの場所に見学に行き、清水寺に戻ってきました。班員がみんなで力を合わせて、きちんとルールを守って行動できました。班で助け合いながら見学地を楽しみ、ホテルで友人と語り合いました。ホテルの食事もおいしく楽しく頂きました。2日目からの金閣寺・奈良の大仏・姫路城等の見学も初めて目にするものばかりで、感動でした。

【奈良公園で、可愛い鹿に鹿せんべいを】



【とても美しい金閣寺と池をバックに】



【琵琶湖グランドホテルでの楽しい夕食】



【ホテル、生徒同士で自治運営のできた班長会議】



異文化とふれ合った国際交流

5月16日に、外国人6名と通訳1名、お世話役1名の方々が来校され、2年生の生徒とふれ合いました。6名の氏名はインドの「アスマ」、インドネシアの「イドリス」、韓国の「ミンハ」、ベトナムの「ミホア」、中国の「楊沫」、「楊帆」さんでした。昼食時間は、各教室で楽しく給食を食べながら、

会話を楽しみました。5校時は体育館で、2年生徒全員に対して、外国の雰囲気や外国人の生活の一端を紹介してくれました。最後の合唱は、とても上手くて印象に残りました。また、6校時は、各教室に入り、青年たちの海外の生活文化に関する質疑応答による相互交流等を行いました。

英語科の杉山先生のご指導の下、生徒たちは校長室にいられた外国人の方を教室に招く際に英語で挨拶したり、教室での質問を英語で表現したりしました。準備の甲斐あって、立派に英語が通じましたし、英語が通じない時は身振り手振りでコミュニケーションを図っていました。

【各教室で、質疑応答】→

素晴らしい国際交流ができました。

【体育館で、外国の紹介】



ゼロのつく日は「挨拶運動」！同時に「オレンジリボン運動」

本校の生徒会は、本当に一所懸命に二島中生徒のために動いてくれます。対面式や生徒総会、体育大会や文化祭などの学校行事の運営だけでなく、「いじめをしない」という思いを込めた「オレンジリボン運動」や「挨拶運動」、悩みを解決する為の「TELL ME BOX」等様々な活動をしてれています。

【5/20（ゼロのつく日）の挨拶運動の様子】



新しい発見があり、仲間と協力し合った福岡市班別研修

総合的な学習の時間を使って、福岡市の名所や自分たちの興味のある場所について、資料等を使ってしっかりと調べ上げてこの班別研修に臨んでいますので、単にルール・マナーを守るだけではなく、その場所の地理や歴史的な背景や文化を学び、充実した学習ができました。素晴らしい生徒達です。

【聖福寺見学。爽やかな木漏れ日の中で】



二島校区ほたる観賞会、大盛況！

6/3（金）に、二島校区の小学生・中学生が親子で集い原田川沿いを歩いて、ほたるを鑑賞しました。その後、東二島中公園で、二島小と二島中生徒で作ったペットボトルの灯籠で作ったオブジェを鑑賞しました。下の写真の通り、夜の暗さの中に浮かぶ幻想的な光がとてもきれいで、幼い子どもから大人まで多くの人々が感動と元気もらいました。これは、二島公民館主催で、地域の方々の協力のもと行われた催しで、地域と小中学校が連携して作った素晴らしいイベントになりました。本当にありがとうございました。



先生方の授業研究

生徒一人一人の生きる力を育むため、学力を向上させるために公開授業を行っています。公開授業では、先生同士で授業を見せ合い、助言や話し合いをすることによって、教師の授業力を向上させることを目的として行っています。

第1回公開授業 5/17 3校時 井野先生 2年2組数学

総合的な学習の時間と数学の教科横断的な授業

主眼：数量関係（比の値）を理解し、地図上の長さを実際の道のりに合わせた時間・距離に換算することができる。
班別自主行動の「時間通りのコースを作ることができる。」



第2・3回公開授業 5/18,5/19 6校時学年授業 春野・宮崎先生・担任

総合的な学習の時間と教科横断国語科

主眼：福岡市の文化や社会的な状況全般を見渡し、各自のテーマを追求するためのレポートや新聞づくりの向け、自分の興味関心があることを見つけ、(対象)地域に対する見方や考え方を広げたり、深めたりできるようにする。



第4回公開授業 5/18 3校時2年1組家庭科 桑畑先生

主眼： アイロンがけの基礎を学ぶ
～アイロンの達人への道～



第5回公開授業 5/24 16:00～科学部顧問 若松先生

主眼：自主的にカルメ焼きを作り、科学的な視点（炭酸水素ナトリウムの熱分解）などから、その出来栄を分析することができる。



第6回公開授業 5/26 5校時2年3組英語 杉山先生 ALT Juha

主眼：1. ALT とのコミュニケーションを通して、フィンランドの紹介について理解できるようにする。
2. 目標言語材料（Unit2 Starting Out 今晚の予定について話してみよう！）be going to ～ を使って、今晚の予定について尋ねたり、答えたりできるようにする。



第7回公開授業 6/7 5校時 2年3,4,5組 古田先生

主眼：基本的なバット操作（テイクバック,スイング等ボールの捉え方）とボール操作（キャッチング,スローイング,フォロースルー）ができるようにする。



生徒総会開催 二島中をより素晴らしい学校にするために！



6月8日（水）に、本校体育館で、全校生徒による生徒総会が行われました。生徒会執行部が中心となり、4月始めから長い時間と労力を費やし今日の日を迎えました。お蔭で、自分たちが気持ちよく生活し、学び合い、成長できるような学校にするために質問や意見を出し合い、素晴らしい生徒総会ができました。

人権映画「対馬丸」を観て

6月4日の土曜授業で、全校生徒が人権映画「対馬丸」を観ました。冒頭に学校長からこんな話をしました。

人権で最も重要なことは、人の命を大切にすること。そして、その命をゴミ屑のように扱うのが戦争です。この映画を観れば、戦争がいかに悲惨であるか感じ取ってくれると思います。その上で、是非皆さんに伝えたいことがあります。戦後71年目となる今から、未来永劫戦争が絶対あってはならないのです。これから私たちができることは、社会に目を向けることです。今「安全保障関連法案」「集団的自衛権」「辺野古移設」など平和に関する様々な話題がニュースや新聞紙上で取り上げられています。その意味を十分に理解し、日本の政治について考えることが重要です。将来、日本を背負って立つ皆さんができることは、一番に18歳から始まる選挙に行くことです。そのためには、今の日本の政治、世界の動向を知っておかなくてはなりません。新聞を読む、テレビのニュースを見る、ネットで調べるなど社会に興味・関心をもって生活しましょう。

すべては日本の、そして世界の平和のために！

生徒の感想を掲載させていただきます。

1年2組 男子

心に残った言葉・場面：「船に乗るとき、お母さんとはなればなれになってしまったところ」

戦争は武器を持たない人達までまきぞいにされて、多くの命が失われて、戦争は絶対にいけないことだと改めてわかりました。疎開に行っても行かなくても地獄で、戦争のせいで友達やお父さんまで失ってしまい、とても悲しかったです。ぼくも戦争が二度と起こらないように、ぼくに何かできることがあったらすんでやろうと思いました。そして、今日からしっかりニュースを見て、いろんなことが分かるようになろうと思いました。

2年4組 女子

心に残った言葉・場面：「対馬丸沈没後に『対馬丸のことは誰にも話すな』と言われた場面」

戦争で、広島と長崎に原爆が落とされたことや空襲をたくさん受けた事は知っていたけど、疎開中に何にも関係のない人間の命が奪われたことは初めて知った。目の前で知り合いが次々に死んでいき、故郷に戻っても「あのことは黙っておけ。」と言われたら、苦しくて自分だったら生きている意味がないとと考えていたかもしれない。今、日本では憲法が改正されるか分からない状況になっているが、70年前に起こった出来事をもう二度と経験したくないし、戦争をしても残る物は後悔だけだと思う。昔の人が残してくれた戦争の恐ろしさを活かし、今自分にある命を大切に、一日をしっかりと生きていきたい。

3年1組 女子

心に残った言葉・場面：「対馬丸が沈むところ」

「対馬丸が沈んだことをキヨシがお母さんに話すところ」

「対馬丸」を見て改めて戦争は悲惨なものだと感じた。罪も武器もない子ども・女性などの一般市民が戦争に巻き込まれていたけど、誰も責めることができない。先生や市長アメリカ軍の人みんながみんな、国の命令で国のためを思っているから。なので私は誰が悪いとかじゃなく戦争を行ったこと自体が間違っていると思う。今、日本では憲法9条を改正させようという動きがある。もしこれが実現されれば、二度としないと誓った戦争が再び起こるかも知れない。私は同じ過ちを繰り返さないためにもこのようなことがあってはならないと思う。そのためにいずれ選挙権を持つようになる私達が自分の考えをしっかりともち、政治を変えていかなければならないと思う。